

令和5年度 国語科「現代の国語」シラバス

北部農林高等学校 全日制課程

科目	現代の国語	単位	1	学年	2	担当	北部農林高等学校 国語科
使用教科書	高等学校 新編現代の国語 (第一学習社)		副教材等		「新編現代の国語学習課題集」準拠ノート (第一学習社) 新装版漢字検定7級～2級漢字トレーニング (いっぴな書店)		

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

評価の方法

評価はABC観点別評価で行う。定期考査、臨時考査（漢字小テスト、朗読テスト等）、提出物（ワークシート、鑑賞文、感想文等）などを評価対象とする。

授業の形態

園芸工学科、林業緑地科、食品科学科は一斉授業。熱帯農業科、生活科学科は習熟度別1クラス2展開で授業を行う。

学習方法

年度の最初の授業で、「現代の国語」について説明し、評価の方法等を説明する。

その他留意点

「新装版漢字検定7級～2級 漢字トレーニング」（いっぴな書店）の活用・国語辞典の活用・図書館利用・漢字検定の受検奨励。

学年・学期	週	日数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	4	4	ナマケモノになる (辻信一)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ナマケモノの生態から考える競争社会での生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようとしている。 ・比喻について積極的に理解を深め、本文中の比喻の効果を説明しようとしている。 		○		授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート
		5	4	言葉の海のオノマトペ (清水由美)	<ul style="list-style-type: none"> ・音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトペの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・わかりやすさに配慮した表現について理解し、活用する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的にオノマトペを使った短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとしている。 ・積極的にオノマトペを使った短文を作り、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 	○		
	6	1	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・相手・目的・場面に合った言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	○	○		授業態度 発問 提出物 ワークシート テスト
	6	2	待遇表現	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 	○	○		授業態度 発問 提出物 ワークシート テスト
	7	3	実用的な手紙文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 		○		授業態度 提出物 ワークシート
	2	9	4	「弱いロボット」の誕生 (岡田美智男)	<ul style="list-style-type: none"> ・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 		○	

学年・学期	週	回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1 0	3	人はなぜ仕事をするのか(内田樹)	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明しようとしている。 ・本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 	○				テスト
				○				
1 1	3	イースター島になぜ森がないのか(鷲谷いづみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・積極的に比喩や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。 ・本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。 	○	○			授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト
				○	○			
				○	○			
1 2	6	合意形成のための話し合いを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・持続可能性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・個別の事例を一般化する文章の効果的な組立て方を理解し、学習課題に即して解釈を深めようとしている。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。 ・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 	○	○			授業態度 発問 話し合い 提出物 ワークシート
				○	○			
				○	○			

3	2	5	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
3	2	5	理想の修学旅行をプレゼンする	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。 ・自身でテーマを決定し、それについて効果的なプレゼンテーションを行っている。 		○		授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート
	3						○	

単位数：1 単位 年間授業時数：35 時間